

S-POOL 通信

第12期 第2四半期
株主通信

2010年12月1日 → 2011年5月31日

STAFF

SYSTEM

SOLUTION

STRATEGY

エスプールグループは、成長軌道への回帰と
早期の復配に不退転の決意で取り組み、
株主の皆様のご期待に沿える成果をあげるべく、
全社員一丸となって努力してまいります。

2011年3月11日に発生しました東日本大
震災により多くの方の尊い命が失われたこ
とに、深い哀悼の意を捧げますとともに、被災
された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

これまで株主の皆様には、業績面で大変
なご心配をおかけ致しておりましたが、当第
2四半期累計期間には3期ぶりの黒字転換を
果たし、第2四半期末時点で債務超過を解消
することができました。そして、第12期の折
り返し地点を越えた現在の業績も順調であ
ることを、ここにご報告申し上げます。



“企業変革を支援し、日本を元気にする！”
それが創業以来変わらない私たちの使命です。
これからも、エスプールグループは
お客様に喜ばれるアウトソーシングサービスを
提供してまいります。

S-POOL 通信 CONTENTS

| | |
|-------------------|-------|
| 震災復興のために私たちができること | … P2 |
| TOP INTERVIEW | … P4 |
| 下期の取り組みについて | … P8 |
| 業績の見通し | … P9 |
| 第12期 第2四半期財務ハイライト | … P10 |
| セグメント情報 | … P12 |
| 会社概要／株式情報 | … P14 |
| S-POOLの現場から | … 裏表紙 |

震災復興のために私たちができること ～東北支店の取り組み～

エスプールグループでは、被災地の一日も早い復興を願い、雇用促進や業務支援などのサポートを行ってまいりました。エスプールヒューマンソリューションズ東北支店では、仙台市役所の「被災者支援相談窓口」の電話相談業務を受託し、市民の皆様の安心の支えとして尽力しています。この度、広報担当が市役所に伺い、現場の様子を聞いてきました。

大変な時こそ、私たちが立ち上がる。

広報担当: コールセンター立ち上げの経緯を、教えてください。

菊池 (支店長): 「被災者支援情報ダイヤル」がスタートしたのは、震災から10日経過した3月21日でした。震災の影響で多くの人材派遣会社が仙台でのサービスを中断するなか、コールセンターの運営経験があり、人員を確保して業務を直ぐに開始できるということで当社にご依頼していただきました。



河北新報 4月6日 夕刊一面

不安な人々を助ける命の電話。

広報担当: 立ち上げ当初はどんな状況でしたか？

松谷 (現場責任者): 最初の頃は1日1,000件を超える相談があり、電話は終始鳴りっぱなしでした。ご相談内容は、震災直後の混乱状況を反映し、「親族が行方不明になっているので探してほしい」といった安否確認や、「電気がないので不安だ」「水道が使えない」「避難所はどこ？」といったインフラ関連の内容が多かったです。

菊池: 常に相談者の立場にたって判断し、行動することを心がけました。水が不足している地域があれば水道局に給水車を要請したり、自宅に戻ることができない方には、一番近い避難所をご紹介したりと、皆様の不安払拭のために、できる限りの対応をさせていただきました。

菊池 (支店長)

チーム力で困難を乗り越える。

広報担当: 仕事を進める上で、どのようなことが大変でしたか？

菊池: 非常に厳しいお言葉をいただくこともありましたが、人の生死に関わる内容や大変な被害状況の話に共感して泣いてしまうスタッフもいました。メンタル面のセルフコントロールがとても難しい業務でしたが、リーダーの松谷さんが気を配ってくれていたお陰で、メンバーの結束も固く困難を乗り越えることができました。

松谷: 実はメンタルだけでなく、生活面の配慮も重要でした。公共交通機関が止まっており通勤には非常に苦労しました。さらに帰宅時には、夜道が非常に暗く危険でしたので、同じ方向であれば一緒に帰るなどの工夫もしました。また、食料は3～4時間スーパーに並ばないと手に入らない時でしたから、メンバー同士、交代で食料を買いに行くなど、お互いに助け合いながら業務を続けていました。

真の復興まで私たちの貢献は続く。

広報担当: 最後にひとことお願いします。

菊池: 素早い決断と行動で契約を進めていただき、このような重要な業務を当社に任せて下さった市役所の職員の方々に感謝いたします。仙台市民の皆様のために貢献できていることを誇りに、今後も全力で業務を遂行してまいります。

松谷: 震災直後と比較すれば、最近では少しずつ落ち着いてきたように感じますが、相談の内容を伺っていると依然として切実な問題も多く、復興はまだまだこれからが本番だと強く感じます。仙台の地に日常の生活が戻ってくるまで、市民の皆様のために頑張っていきます。

松谷 (現場責任者)

第12期 第2四半期の業績

「黒字転換を達成し、債務超過を解消することができました。」

当第2四半期累計期間においては、2011年2月末にエスプール総合研究所の全株式を同社経営陣に譲渡したことから、前年同期比で売上高では162百万円、営業利益では70百万円の減少要因が発生しました。

しかしながら、主力事業（人材派遣、アウトソーシング）が好調だったことで減少分を上回る売上を獲得したことに加え、コスト削減と売上総利益率の改善を図った結果、連結売上高は2,937百万円（前期比6.6%増）と2期ぶりの増収を達成し、連結営業利益は5百万円（前期から186百万円の改善）と黒字化を達成することができました。

また、上述のエスプール総合研究所の株式譲渡によって43百万円の特別利益が発生したことから、第2四半期末時点では債務超過を解消することができました。



第12期 第3四半期以降の取り組みについて

「安定経営を目指して収益力の強化に努めます。」

2009年秋のリーマン・ショックに端を発した世界同時不況から取り組んできた事業構造改革も、ようやく完了することができました。また、東日本大震災の業績への影響も限定的で、通期計画に対する進捗も概ね堅調に推移しています。当第3四半期以降については、成長軌道への本格的な回帰を目指して、「売上の拡大」と「収益力の向上」に努めてまいります。具体的には、各事業を「事業拡大を積極的に進める分野」、「自らの得意領域・強みに磨きをかけることに注力する分野」、「早期の収益化を目指す分野」に分類するとともに、それぞれの事業の戦略を明確にした取り組みを進めてまいります。

この後半で、さらなる業績の上積みを図り、通期の報告では、株主の皆様へより良いご報告ができるように努力してまいります。



代表取締役会長兼社長

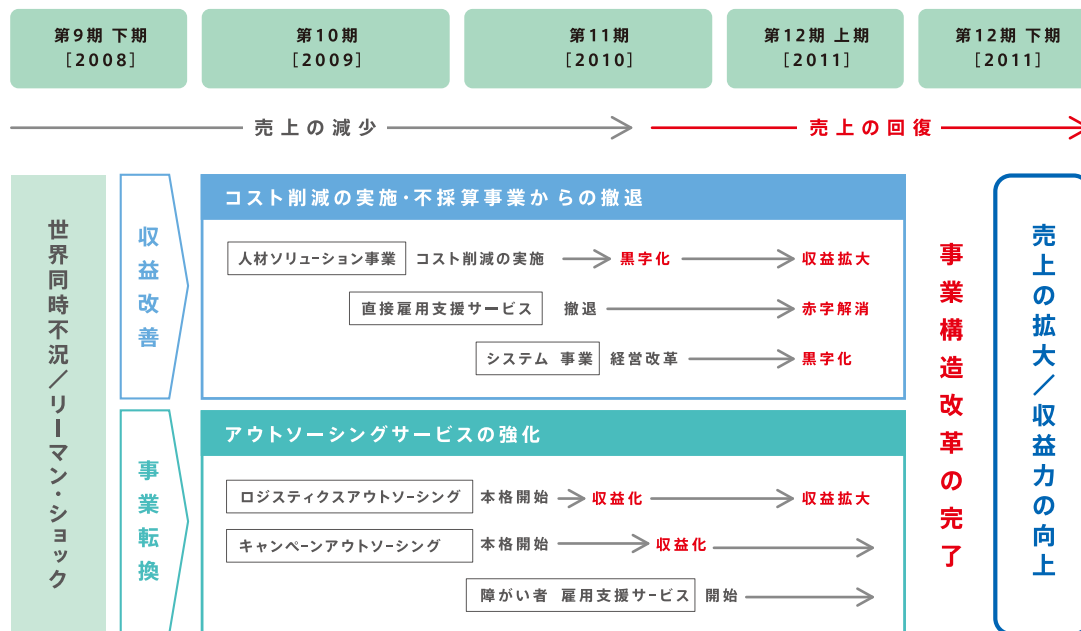
浦上 壮平

株主の皆様へ

今上半期は、赤字事業の黒字化と子会社の株式の売却によって黒字転換を達成することができました。しかしながら、黒字幅ははまだ十分ではありません。下期については、まずは主力事業の収益力を強化すること、あわせて、この数年間の赤字で脆弱化した財務体質を改善していくことが最重要課題となります。

今下半期、私たちは、成長軌道への回帰と早期の復配に不退転の決意で取り組み、株主の皆様のご期待に沿える成果をあげるべく、全社員一丸となって努力してまいります。株主の皆様には、中長期的な当社の成長にご期待いただき、引き続きご理解ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

黒字転換に向けたこれまでの取り組みと下期への施策

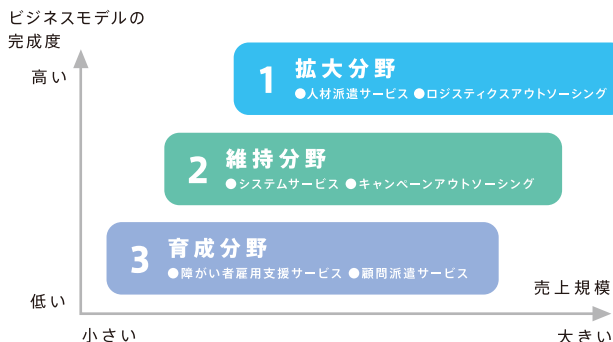


Point 第12期第2四半期にて、事業構造改革完了。第3四半期以降は、成長軌道への回帰を目指します。

下期の取り組みについて



各事業の戦略を明確にして、
第3四半期以降の飛躍的な成長につなげます。



1 拡大分野 強みを活かして拡大を図る

●人材派遣サービス ●ロジスティクスアウトソーシング

得意とする事業領域で積極的な拡大を目指します。人材派遣サービスについては、需要の拡大が続く携帯販売員派遣とコールセンター派遣に注力します。一方、ロジスティクスアウトソーシングについては、通販企業を中心とした発送代行サービスの拡大を目指します。

2 維持分野 強みを固めることに注力する

●システムサービス ●キャンペーンアウトソーシング

得意とする事業領域を明確にして、自社の強みに磨きをかけることに注力します。システムサービスについては、WEB開発分野への特化、キャンペーンアウトソーシングについては、「省エネ」「エコ」関連を中心としたサービスの提供を強化します。

3 育成分野 成功モデルの確立を図る

●障がい者雇用支援サービス ●顧問派遣サービス

障がい者雇用支援サービス、顧問派遣サービスともに、実績が徐々に積み上がり、認知度もようやく高まってきました。下期については、営業と体制面の強化を図り、早期収益化を目指します。

業績の見通し



財務基盤の安定化に向けて、収益力のさらなる強化を図り、継続的な成長を目指します。

| | | |
|-------|-----------------------|---|
| 売上高 | 5,527百万円 (前期5,614百万円) | ↓ |
| 営業利益 | 22百万円 (前期△291百万円) | ↑ |
| 経常利益 | 0百万円 (前期△311百万円) | ↑ |
| 当期純利益 | 42百万円 (前期△758百万円) | ↑ |

事業戦略方針

強みを活かしたアウトソーシングサービスの提供

収益力の向上

財務体質の強化

長期的に目指す姿

専門性の高い
アウトソーシング
サービスの提供

長期的に安定した
バランスのとれた
成長の実現



第12期 第2四半期 財務ハイライト (単位: 百万円)

2期ぶりの増収、3期ぶりの増益を達成し、債務超過を解消することができました。

| | 第11期 2009年12月1日～ 2010年11月30日 | 第11期 第2四半期 2009年12月1日～ 2010年5月31日 | 第12期 第2四半期 2010年12月1日～ 2011年5月31日 |
|--------------------|------------------------------------|--|--|
| A 売上高 | 5,614 | 2,756 | 2,937 |
| B 営業利益 | △291 | △181 | 5 |
| 経常利益 | △311 | △193 | △3 |
| C 四半期/当期純利益 | △758 | △178 | 40 |
| 流動資産 | 1,252 | 1,276 | 1,104 |
| 固定資産 | 261 | 721 | 233 |
| D 負債 | 1,547 | 1,450 | 1,331 |
| 純資産 | △33 | 547 | 6 |
| 総資産 | 1,513 | 1,998 | 1,338 |

A 売上高のポイント

前期比6.6%増の2,937百万円となりました。これは主に人材ソリューション事業における人材派遣サービスの受注増と、ビジネスソリューション事業でのキャンペーンアウトソーシングの受注増によるものです。

B 営業利益のポイント

前期より186百万円増加し、5百万円の営業利益となりました。パフォーマンス・コンサルティング事業が第2四半期より連結対象外となったことで、70百万円の減少要因となりましたが、システム事業とビジネスソリューション事業の収益改善などにより、営業利益が256百万円増加しました。

C 四半期純利益のポイント

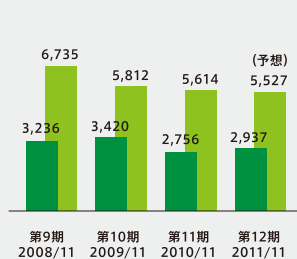
子会社の株式譲渡によって43百万円の特別利益が発生したことなどにより、40百万円の四半期純利益を確保することができました。

D 貸借対照表のポイント

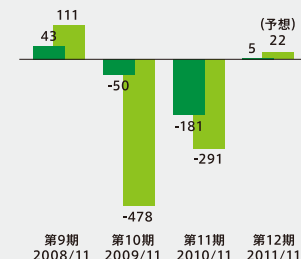
総資産は、前期末から175百万円減少し、1,338百万円となりました。これは主に子会社が連結除外となったことに伴う資産減少によるものです。負債は、前期末から216百万円減少し、1,331百万円となりました。これは主に子会社が連結除外となったことに伴う負債の減少、借入金の返済ならびに社債償還に伴う負債減少等によるものです。純資産は、前期末から40百万円増加し、6百万円となりました。

■ 第2四半期 ■ 通期

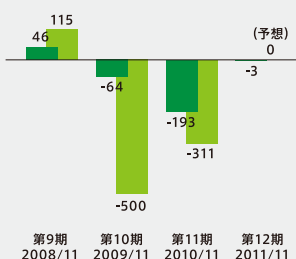
売上高



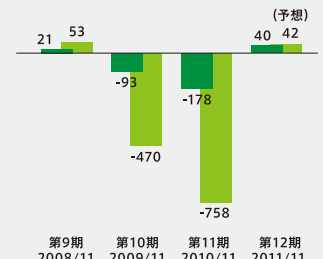
営業利益



経常利益



四半期/当期純利益

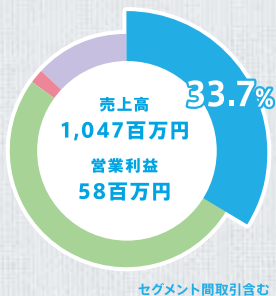




ビジネスソリューション事業

ロジスティクスアウトソーシング、 キャンペーンアウトソーシング等のサービス

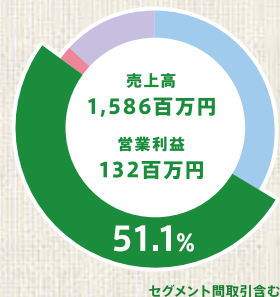
全国規模の大型の調査案件業務や、発送代行業務が増加したことで、売上高は前期比13%増の1,047百万円となりました。利益面については、生産性の向上によってロジスティクスアウトソーシングの利益率が大幅に改善したほか、不採算サービスから撤退したことなどにより、営業利益は58百万円と黒字転換することができました。



人材ソリューション事業

人材派遣や人材紹介等、 人材に係わるアウトソーシングサービス

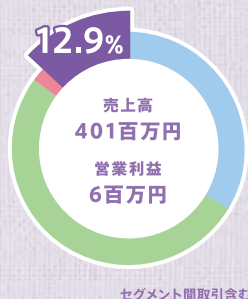
人材派遣サービスの需要が大きく伸び、売上高は前期比21%増の1,586百万円、営業利益は132百万円となりました。コールセンター派遣は、震災後に一時的に大きく需要が減退しましたが、5月以降は回復傾向にあり堅調に推移しました。また、スマートフォン市場の拡大とともに、携帯販売員の派遣が順調に増加しました。



システム事業

システムエンジニア (SE) 派遣や システムの受託開発等のサービス

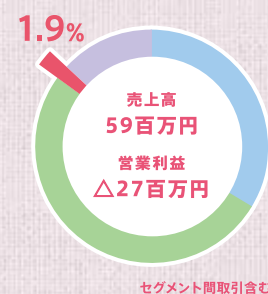
収益力の改善を最優先に、低粗利率案件の縮小や不採算プロジェクトからの撤退を進めた結果、売上高は前期比11%減の401百万円となりました。一方、利益面については、前述の収益改善策に加えて、管理部門の統合や人件費の削減などのコスト削減を進めたことで、6百万円の営業黒字となりました。



パフォーマンス・コンサルティング事業

企業研修や人事に関する コンサルティング等のサービス

2011年2月末に、エスプール総合研究所の全株式を子会社経営陣に譲渡しましたので、第1四半期連結会計期間までのセグメント業績になります。第1四半期連結会計期間は、事業の性質上閑散期にあたるため、売上高は59百万円、営業損失は27百万円となりました。



会社概要 / 株式情報



会社概要 (2011年5月31日現在)

| | |
|-------|---|
| 会社名 | 株式会社エスプール (S-Pool, Inc.) |
| 創立 | 1999年12月1日 |
| 資本金 | 5億8,473万円 |
| 売上高 | 56億円 (連結 2010年11月期実績) |
| 従業員 | 202名 (連結) |
| 本社 | 東京都中央区日本橋二丁目15番3号 ヒューリック江戸橋ビル3階 TEL: 03-3517-6633 (代表) |
| 連結子会社 | 株式会社エスプールヒューマンソリューションズ 株式会社エスプール・マーケティング 株式会社GIM 株式会社わーくはびねず農園 |
| 関連会社 | イーカム・ワークス株式会社 |

役員 (2011年5月31日現在)

| | |
|----------------|-------|
| 代表取締役 会長兼社長 | 浦上 壮平 |
| 取締役 | 佐藤 英朗 |
| 取締役 | 吉村 慎吾 |
| 社外取締役 | 赤浦 徹 |
| 社外取締役 | 竹原 相光 |
| 常勤監査役 | 徐 進 |
| 社外監査役 | 畑中 裕 |
| 社外監査役 | 吉岡 勇 |

株式の状況 (2011年5月31日現在)

| | |
|----------|----------|
| 発行可能株式総数 | 100,320株 |
| 発行済株式の総数 | 25,834株 |
| 株主数 | 1,296名 |

大株主

| 株主名 | 持株数 | 持株比率 |
|-------------|--------|-------|
| 浦上 壮平 | 5,714株 | 22.1% |
| 吉村 慎吾 | 5,375株 | 20.8% |
| エスプール従業員持株会 | 1,819株 | 7.0% |
| 佐藤 英朗 | 1,093株 | 4.2% |
| 白石 徳生 | 820株 | 3.1% |

株主メモ

| | |
|--------|--|
| 証券コード | 2471 |
| 事業年度 | 毎年12月1日から翌年11月30日まで |
| 定時株主総会 | 毎年2月開催 |
| 基準日 | 定時株主総会 毎年11月30日 期末配当金 毎年11月30日 中間配当金 毎年 5月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 |

株主名簿管理人

大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所

東京都中央区八重洲二丁目3番1号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付および 電話照会先

〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎0120-176-417

インターネット ホームページURL

<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

公告方法

電子公告とする。ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむをえない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告する。

上場証券取引所

大阪証券取引所 (JASDAQ市場)



インターネットIR情報 <http://ir.spool.co.jp/index.html>

IRサイト内に当社の強みや特長をわかりやすく説明した「個人投資家の皆様へ」ページを新たにオープンいたしました。また、決算説明会の動画配信も行っております。株主の皆様、当社をより一層ご理解していただけるよう、今後も情報発信に力を入れてまいります。

個人投資家の皆様へ



決算説明動画



本誌には将来の財務状態および業績に関する記述が含まれています。これらの記述は、経営を取り巻く環境の変化などにより異なる結果となり得ることをご承知おきください。

S-POOLの現場から vol.2

千葉県の上原市にある「わーくはびねす農園」では、お客様企業の障がい者の方々と、水菜や小松菜など約10種類の野菜を育てています。3月から収穫が始まり、安心・安全な美味しい野菜ができました！とお客様にもお喜びいただいています。

わくはび農園便り

2011年2月1日

外食チェーンを展開するお客様企業の3名の障がい者の方々が、「わーくはびねす農園」での勤務をスタートさせました。美味しい野菜が一日でも早く収穫されるように、一緒に頑張っていきたいと思います。



2011年3月13日

震災後、首都圏のスーパーでも様々な商品が店頭から消えました。困っている方々のお役に少しでも立てればとの思いから、サニーレタス、ラディッシュ、春菊などの収穫野菜を、近隣の住民の皆さまに無償でご提供させていただきました。

2011年4月3日

お客様企業と一緒に収穫祭を行いました。とれたてのサンチュにお肉を巻いて美味しくいただきました！皆様が農園にいらっしゃる際には、こうしたおもてなしができればいいなと思っています。

2011年5月3日



連休を活用して、当社の新入社員が水菜の収穫に参加しました！当たり前にお卓に並ぶものは、沢山の人の努力と愛情が込められている。一つ一つの体験を活かし、心豊かな社会人として活躍してもらいたいと思います。

わーくはびねす農園について

エスプールグループでは、自社農園による障がい者雇用を検討している企業様に対し、わーくはびねす農園が運営する養液栽培施設の共同活用による障がい者雇用をご提案しています。エスプールグループでは、障がい者の就業機会の拡大と社会参加への支援を積極的に行ってまいります。



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C009419